

インターモーダルの推進

日本の二酸化炭素排出量のうち、運輸部門の排出量が約20%をしめ、民生部門とならび今後さらに増加が予想されています。こうした状況で、今、鉄道単体の環境負荷低減をはかるだけではなく、交通システム全体としての環境への負担を小さくすることが求められています。このため、JR東日本では、鉄道と自動車などの交通間の連携（インターモーダル）を推進する必要があると考えています。

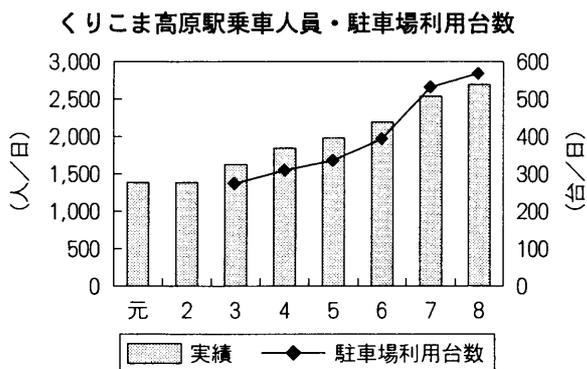
交通は、鉄道だけでなくさまざまな交通機関で構成されており、それぞれの特性をうまく組み合わせることで、私たちのニーズを満足させながら環境への負担を小さくすることが可能です。

■ インターモーダルの推進

・パークアンドライド

自宅から近くの駅まではマイカーで、そして駅から目的地までは電車で行く。特に目的地まで渋滞が予測されたり、駐車場が確保しにくい場合は、合理的な組み合わせです。もちろん環境への負担も、自動車で行く場合に比べればはるかに小さくすることができます。JR東日本では独自に、あるいは自治体と協力してパークアンドライド用の駐車場の設置を各地で進めています。

東北新幹線くりこま高原駅では、駅前に約500台の無料駐車場が設置されており、当初予想の倍以上のお客様がご利用されています。



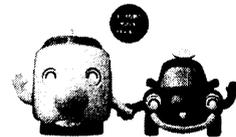
くりこま高原駅

・レールアンドレンタカー、駅レンタサイクル

目的地で自動車の便利さを活用しつつ、鉄道の高速性を活かすのがレールアンドレンタカー。もちろん運転の負担も小さくなります。JR東日本では、レンタカー料金を利用しやすい水準に設定し、鉄道運賃・料金の割引も実施しています。また、いくつかの観光地の駅では自転車を用意しています。



トレン太くん



トレン太くんにすると、
みんなの乗車券が20%
引きに。特急券も10%
引きになるんですよ。

JR「東と西のガイドマップ」プレゼント中

トレン太くん